

平成29年度 白銀南小学校 経営方針

I 校訓・学校教育目標・努力目標

日本国憲法、教育基本法、学校教育法等の法律や学習指導要領、県・市の方針等をふまえ、児童の実態、保護者の願い、地域の信頼をもとに、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな児童の育成を図るために、教職員個々のよさとその組織力を生かした教育を推進する。

1. 校訓（建学の精神）

- 「友情」…大自然の恵みの中で、温かく心をかよい合わせ、日常生活に潤いと喜びを分かち合っていく。
- 「健康」…大きなエネルギーに満ちた太陽のもとで、心身とも健康な体をつくろうとがんばる。

2. 学校教育目標

- 『豊かな心もち 主体的に活動する子』

3. 努力目標

- 思いやりのある子 ○ 体をじょうぶにする子 ○ 進んで学習する子

II 学校経営方針

1. 基本理念

生涯にわたる人間形成の基礎を培うため、児童自らが主体的に学ぶ意志や態度、能力の育成を志向した教育活動に努める。また、「いのちの教育」を基底に「生きる力」を支える確かな学力、豊かな心、健やかな体の調和のとれた育成を図り、個を生かした夢を育てていきたい。

2. めざす学校像（開校29年目）

～暖かさと活力に満ち、充実した生活を過ごせる学校～

子どもたちが充実した学校生活を過ごせる学校にしていきたい。めあてに向かって取り組む、勉強が分かる、運動ができる、やること(仕事)がある、がんばれば認めてくれる、友だちと仲良くできているなどを子ども一人一人が実感できるような学校づくりに努める。

3. めざす子ども像

- ・きまりを守り、命を大切にする子ども
- ・確かな学力を身につけた子ども
- ・基本的な生活習慣、学習習慣を身につけた子ども
- ・問題解決に意欲的に取り組む子ども

4. めざす教職員の姿

- ・心身ともに明るく健康な教職員
- ・子どもとのふれあいを大切にし、児童理解に努める教職員
- ・認める、ほめる、励ますを基盤とし、子どもを育てる教職員
- ・子ども、保護者、地域に信頼される教職員
- ・自らの専門職としての資質の向上に努める教職員



5. 学校目標

－授業の充実と望ましい学習習慣・生活習慣の形成－

問題解決的な学習を軸とした授業の充実を図り、基礎的・基本的な知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力の育成に取り組む。また、学習や生活の約束をしっかり身につけさせることで、望ましい学習態度や生活態度の育成を図り、学力の向上に努める。

Ⅲ 学校目標の達成のために

1. 学校目標の具現化

問題解決的な学習を軸とした授業の充実を図り、基礎的・基本的な知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力の育成に取り組む。また、学習や生活の約束をしっかり身につけさせることで、望ましい学習態度や生活態度の育成を図り、学力の向上に努める。

－授業の充実と望ましい学習習慣・生活習慣の形成－

<数値目標>

- ・ N R T－55（偏差値）
- ・ C R T－110%（全国比）
- ・ 学校評価関連項目90%（肯定的評価）

（1）教師の授業力の向上－わかった！できた！身についた！が実感できる授業－

- ①基礎的・基本的な知識・技能の定着を図る授業
- ②学び合いの場のある授業
- ③思考力・判断力・表現力をはぐくむ授業
- ④体験的な活動を取り入れた授業
- ⑤問題解決的な学習を軸とした授業

（2）基本的な学習・生活習慣、規範意識の育成－学力向上は生活態度から－

- ⑤元気よくあいさつをする
- ②ていねいな言葉をつかう
- ③話をしっかり聞く
- ④時間ときまりを守る
- ⑤本を読む習慣を身につける

2. 学校目標の達成のために

- ・すべての学級でなされること
- ・子どもたちの変容として表れること
- ・教職員の手応えとして残ること

Ⅳ 学校運営に際して

1. 学校運営を進めるために

- ・保護者との信頼関係を構築する－誠意ある対応とスピードある対応－
- ・地域密着型教育を生かす－積極的に地域と関わる－
- ・特別支援教育の視点を大切にする－通常の学級での特別支援教育－
- ・1時間1時間の授業を大切にする－週案簿の充実－
- ・職員朝会・職員会議の効率的な運営－報告・連絡・相談と共通理解－
- ・場を清め、時を守る－清潔な学校・教室の中で、時間を守って－

2. 同僚性の構築

- ・同僚（先輩）にまねて学ぶ－謙虚さ－
- ・仕事は厳しく自分の持ち場で力を発揮する－責任とフォローアップ－
- ・子どもとともに育つ－子どもが自分を育ててくれている－

3. ルールとリレーションの確率

- ・集団にはルールが必要－ルールのない集団は目標を達成できない－
- ・集団には温かい人間関係が必要－よさ（有能感・有用感）に目を向け引き出す－